

令和6年度事業報告

【1】 法人

1. 法人基本理念

キリストの教えに基づき「人を愛し、助け、支える」を実践する。人を大切にし、人に感謝する。

2. 法人全体の年度目標

1) 連携

- ・職員間・事業所間で互いに理解し合い連携します
- ・同じ法人で働く者どうし信頼し合える関係を築きます
- ・連携することで補い合い、高め合い、サービス力をアップします

2) 安全

- ・利用者が穏やかに過ごせる環境を保ちます
- ・利用者の心身の安全を守ります

3) 地域貢献

- ・交流を通して地域へ貢献します
- ・その交流を積極的に情報発信していきます
- ・地域の自主運営を支える「ほっと一息」へと発展します

3. 総括

- 1) 各事業とも低調だった前年度から一段持ち直した実績を残したが予算達成には至らず、給食業者やシルバー人材の業務委託費の上昇、水道光熱費、燃料費等の上昇など支出総額も増え、厳しい財務状況が続いている。

- 2) 労務状況

- ・年度内に傷病により6か月以上休職する職員が4名あり人手不足状態が続いた。

○採用12名（常勤9・非常勤3・内新卒0）人材紹介業者経由採用6名

- ・特養8名（介護6・ケアマネ1・事務1）、デイ1名（事務）、居宅1名（ケアマネ）
訪問介護1名（ヘルパー）、ケアハウス1名（栄養士）

○退職8名（常勤5・非常勤3・内勤務1年未満2）離職率7.8%

- ・特養5名（介護4・用務1）、伊勢寺デイ1名（給食）、居宅支援1名（ケアマネ）
ケアハウス1名（相談員）

- 3) 各事業の主任及び中堅職員が、月次の実績確認を行い、意見交換する月毎の定例会議を開始した。回を重ねるにつれて発言が増し、事業経営に対する感度も育ちつつある。

- 4) 前年度に引き続き、全体研修を実施し事業所の枠を超えた職員交流を図った。

- 5) 継続し取り組んでいる地域交流事業「ほっと一息」及び「春まつり」を計画的に実施することができた（13項参照）

4. 理事会

開催日時	協議議案	出席状況
R6.5.30(木) 13:30～15:00	第1号議案 令和5年度事業報告の承認 第2号議案 令和5年度決算報告の承認 第3号議案 令和6年度定時評議員会開催の承認	理事6名 (欠席者なし) 監事2名
R7.3.22(土) 13:30～15:00	第1号議案 令和6年度補正予算案の承認 第2号議案 令和7年度事業計画案の承認 第3号議案 令和7年度予算案の承認 第4号議案 新任評議員候補の承認	理事6名 (欠席者なし) 監事2名

5. 定時評議員会

開催日時	協議議案	出席状況
R6. 6. 15(土) 13:30～15:30	報告事項：令和5年度事業報告 第1号議案 令和5年度決算書類の承認	評議員6名 (欠席者1名) 監事2名

6. 主な活動

実施日	内 容
R6. 4/1	開設記念（永年勤続表彰10年3名・30年2名）
5/16	会計監査（年度監査）（無藤和博会計事務所）
5/22	監事監査（年度監査）
5/30	令和6年度第1回理事会
6/15	令和6年度定時評議員会
6/16	阿坂老人会奉仕作業
6/19・25	職員健康診断（松阪市健診センター・検診車）98名受診
6/18	資産変更登記 12億5449万916円
8/8	合同慰霊祭（篠田山納骨堂）
8/22	苦情解決検討委員会（苦情第三者委員との懇談会）
10/6	阿坂老人会奉仕作業
10/14	秋の合同慰霊祭（篠田山納骨堂）
11/19	会計監査（中間）（無藤和博会計事務所）
12/21	職員の子供のためのクリスマス会中止につきプレゼント配付
R7. 1/1	元旦祝賀昼食会
1/4	松阪神楽保存会による獅子舞（ケアハウス・デイサービス・特養）
1/30	苦情解決検討委員会（苦情第三者委員との懇談会）
R6. 4～5	春期 職員腰痛検診（宮村医院）
R6. 9～10	秋期 職員腰痛検診（宮村医院）

7. 会議等

実施日	内 容
毎月1回	執行役員会議
毎月1回	FD会議（各事業所主任等管理者集合会議）
毎月1回	事務会議（各事務担当者、法人事務局）

8. 補助金・交付金

三重県介護職員処遇改善支援補助金（R7. 1. 28） 1,311,438円

令和6年度三重県物価高騰対策支援補助金 1,377,000円

9. ご寄附

	寄附者	金額	適用
1	カトリック聖ヨゼフ修道会 米国本部 様	765,400	（\$5,000）
2	小山理容店 様	10,000	
3	特養ご利用者 様（個人情報提供不同意により氏名非表示）	10,000	
4	吉田 正 様	10,000	縁者
	計	795,000	

ご寄贈

	寄贈者	寄贈品	適用
1	山口 千勢子 様	タオル48枚	デイサービスご利用者様

10. 全体研修

研修課題	実施日	参加人数	適用
ヒヤリハット事例検討	4/13、4/19、5/11、5/17	各 18～20 名	グループワーク
認知症事例検討	7/13、7/19、8/10、8/16	各 18～20 名	グループワーク
虐待事例検討	10/11、10/18、11/9、11/15	各 18～20 名	グループワーク
感染症対策研修	12/14、12/20 R6-1/11、1/17 (中止)	各 18～20 名	講義、演習
意見交流 (R6 に向けて)	R6-2/8、2/21、3/14、3/20	各 18～20 名	グループワーク

11. 合同委員会

委員会名	委員	実施日	適用
CA(地域活性化)会議	委員 11 名	4/18、5/16、6/20、7/18 8/8、9/12、10/17、12/12 R6.1/16、2/20、3/19	ほっと一息月次状況確認 まつり行事企画検討等
苦情解決委員会	委員 13 名	R6.1.12	苦情事例 2 件の検討
感染症対策委員会	各事業所代表 6 名	9/22、10/18、11/28	感染症対策マニュアル作成、研修計画等
虐待防止委員会	各事業管理者 5 名	10/19、R6.2.12	虐待防止マニュアル作成、研修計画等
BCP 推進委員会	各事業管理者 9 名	R6.3.5	BCP の目標・構成・進め方等

12. 指針策定・規則変更

常勤職員賃金規程	R6.4.1 改正	R6.6.1 改正	R6.8.1 改正
非常勤職員就業規則	R6.4.1 改正	R6.6.1 改正	R6.8.1 改正

13. 地域交流事業 (ほっと一息)

開催地区	開催日	参加人数	講師及び参加職員
美濃田地区	6 月 25 日(火)	16 名(男性 4 名・女性 12 名)	★島田・川上・目ヶ谷・田中・橘
	9 月 25 日(水)	21 名(男性 3 名・女性 18 名)	★角野・島田・竹岡・橘・村田
	12 月 25 日(水)	21 名(男性 3 名・女性 18 名)	★前川・川北・大島・谷・松原
八重田地区	6 月 1 日(土)	21 名(男性 10 名・女性 11 名)	★下村・森田・奥田・川本・神保
	12 月 14 日(土)	19 名(男性 9 名・女性 10 名)	★島田・川上・浅井・橘・松田・松本
	3 月 8 日(土)	13 名(男性 6 名・女性 7 名)	★野口・竹岡・加藤・松本・清水・土岐
深長地区	4 月 10 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)	★鍛野・川北・森上・大島・白樫
	7 月 10 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)	★白樫・岡田・出口・森本・前田
	11 月 13 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)	★野口・島田・川本・新田・栢
	3 月 12 日(水)	13 名(男性 2 名・女性 11 名)	★角野・下村・川本・奥田・山中
伊勢寺地区	4 月 18 日(木)	14 名(男性 4 名・女性 10 名)	★野口・岡田・山本・辻本・田辺
	7 月 18 日(木)	12 名(男性 4 名・女性 8 名)	★角野・前川・川北・森上・成沢
	11 月 18 日(月)	13 名(男性 6 名・女性 7 名)	★川崎・竹岡・目ヶ谷・木下・辻本
	1 月 18 日(土)	12 名(男性 5 名・女性 7 名)	★鍛野・出口・森本・尾上
大阿坂地区	9 月 14 日(土)	22 名(男性 19 名・女性 3 名)	★鍛野・川北・神保・中村・奥野・山中
	11 月 9 日(土)	24 名(男性 19 名・女性 5 名)	★前川・角野・岡田・大島・谷・川谷
小阿坂地区	6 月 18 日(火)	17 名(男性 2 名・女性 15 名)	★前川・刀根・竹岡・木下・建井・奥野
	9 月 17 日(火)	19 名(男性 2 名・女性 17 名)	★島田・加藤・出口・土岐・森本
	12 月 17 日(火)	23 名(男性 2 名・女性 21 名)	★川上・前川・下村・森本・山際
	3 月 18 日(火)	24 名(男性 2 名・女性 22 名)	★前川・岡田・川崎・森上・土岐
川井町睦クラブ	9 月 12 日(木)	21 名(男性 5 名・女性 16 名)	★川崎・下村・山本・奥田・辻本

【2】 特別養護老人ホーム、短期入所者生活介護

1. 総評

令和6年度、長期入所の稼働率は、93.6%となり、目標の年間目標稼働率、97%には未達となりました。令和5年度の稼働率は、92%でしたので、1.6%上昇することができました。特養では、年間で22名の方が特養を去られています。(月平均で1.8名)また、今年度は、6件の看取りをさせていただきました。近年の課題でありました長期入所の空床期間の短縮という部分では、入所判定会議を月の定例とし、入所検討をする機会を増やすことで、空床期間の短縮につながりました。

ショートステイ事業は、年間目標稼働率、95%に対して、年間稼働率が91%となり、目標稼働率には、未達となりました。空床期間が短縮されたことで、ショートステイにご利用いただけるベッド数が少なくなったこと原因の1つであると考えます。

また令和6年度は、予定になかった東棟屋上ボイラーの取替工事があり、869万円の出費となりました。令和5年度から取り組んでおります、口腔ケアの充実については、誤嚥性肺炎での入院者数は、減少傾向にあります。尿路感染症についても、陰部洗浄液を購入し、清潔を保つ取組を始めました。今後も、南勢カトリックに来てよかったといっていただけのように職員一丸となって取り組んでまいります。

2. 職種別職員数 (R7.3.31 現在)

単位：人

職 種	員 数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		1					
介護支援専門員		2	1.86					
ケアワーカー	25	9	7.74		5		4	
看護師	4		4					
管理栄養士	1		1					
生活相談員	1	2	3				1	
事務員	2	2	3.6					
作業療法士	1		1					
医師		4						
介助員		2						1
用務員								1
シルバー人材		1				1		

3. 特養利用状況、月別入退所状況 (各月末人数)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用者	87	89	88	87	89	89	89	88	87	89	88	84	1054	87.17
入所	4	1	2	2	1	1	2	2	3	1	0	5	24	2
退所	2	2	1	1	1	1	3	3	1	2	4	2	23	1.92

4. 短期入所利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人	33	31	30	30	33	35	31	30	30	32	33	32	380人
延日数	362	393	371	421	431	432	431	413	431	412	418	458	4968日

5. 利用実人員 (入院者を除いた数)

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
88	86	83	87	86	85	83	85	87	84	79	83	1016

6. 介護度別利用人員

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	31	4.77
要介護2	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	73	11.23
要介護3	24	24	24	24	25	24	24	26	25	25	26	27	298	45.85
要介護4	32	32	31	31	30	32	33	34	33	33	32	34	387	59.54

要介護5	25	25	26	25	26	25	25	22	24	24	22	20	289	44.46
計	91	90	90	89	90	90	91	90	90	90	88	89	1078	165.85

7. 入退居状況

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	1	死亡による	20
老人保健施設	2	在宅復帰	0
養護老人ホーム	1	長期入院	2
ケアハウス	0	他施設	1
病院	6	その他	0
短期入所継続	12		
他施設	2		

8. 利用期間状況

期間	男	女	計
1年未満	9	11	20
1年～3年未満	8	19	27
3年～5年未満	2	18	20
5年～10年未満	4	15	19
10年～15年未満	0	2	2
15年以上	0	0	0
計	23	65	88

9. 年齢・性別状況

	男性	女性
最高年齢	101	102
最低年齢	65	74
平均	86	91
全体平均	89.7	

10. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
役員会議	施設長	月1回
ドリームPA会議	施設長・課長	月1回
主任会議	施設長・課長・各主任・リーダー	月1回
職員会議	全職員	月1回
感染症対策委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	月1回
身体拘束廃止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回
入所判定委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	随時
事故発生防止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回

11. 研修状況

《施設内研修》

6月16日	食中毒について	16名
7月17日	介護予防について	17名
10月16日	看取りについて	17名
12月18日	倫理及び法令順守	14名
12月18日	認知症について	14名
1月9日	緊急時の対応（AED）	18名
2月19日	プライバシー保護について	21名

《スキルアップ研修》

4月17日	令和5年度の振り返り・令和6年度年間計画について	16名
5月15日	機能訓練について	15名
6月16日	口腔ケア・水分ケアについて	16名
7月17日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	17名
8月14日	褥瘡予防について	19名
9月18日	上半期総括・下半期に向けて	16名
10月16日	感染症について	17名
11月20日	オムツ交換について	19名
12月18日	就業規則について	14名
1月9日	事故発生防止について	18名
2月19日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	21名
3月19日	生産性向上について	18名

《施設外研修・オンライン研修》

5月7日～6月4日	社会福祉法人の労務管理基礎（オンライン）	1名
8月20日	三重県休職管理者研修会（オンライン）	1名
9月24日、25日	人事・労務管理講座（オンライン）	1名
10月7日、8日	日本カトリック高齢者施設協会 第32回全国大会	2名
10月29日	ノーリフトケアの導入研修会	1名
11月18日	高齢者施設向け感染症対応力向上研修Ⅰ（オンライン）	2名
12月6日	マイナ保険証への準備と対策	1名
12月9日	カスハラに対する法的対策	1名
12月13日	BCP（業務継続計画）研修会	2名
12月18日	高齢者施設向け感染症対応力向上研修Ⅱ（オンライン）	2名
2月14日	給与システム・基礎操作編（オンライン）	1名
3月6日	日本人の食事摂取基準（2025年版）の改定のポイント	1名

1 2. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	実施主体	内容	担当者
8月31日	県集団指導	介護保険の集団監査	課長・介護支援専門員・生活相談員
11月1日	情報公開制度	インターネットにて情報公開	施設長

1 3. 苦情受付等の状況

受付年月日	苦情申立者	内容
3月11日 ※1	退職職員	休職中で賃金支給対象外の職員に賃金の誤支給（R6.9月分）があった。当該職員の退職時（R7.2）に誤支給が判明したため、返還請求したが、「収入がない為すぐには返金できない。9月の事を今頃言われても困る」「収入ができて返金する」と苦情を受けた。

※1) 傷病により9月1ヶ月間休職となった。本来であれば給与支給の対象ではなかったが、休職期間が9月中に延長になり、一旦9月分の給与を支払い翌月に控除処理を行うこととした。しかし、翌月に控除の手続きをせぬまま休職期間満了により退職に至った。退職時に過払い分の返金をお願いしたが、返金は困難とのことで、働けるようになってから返金を受けることで折り合った。今後の防止策として、休職者の確認を1人ではなく、複数人で確認し、間違いがないようにします。

1 4. ありがとうメッセージ

受付日	申出者	内容
8月18日	お嫁さん	ショートステイのご利用を相談したその生活相談員は、翌日に実調にきていただき、その際に義父のオムツ交換、衣類交換をしていただきました。ショートステイ中に急変し、救急搬送になった際、病院内で私の傍らで付き添ってくださいました。不安な中、傍にいてくださったことが心の支えになりました。

15. 事故・ヒヤリハット報告

事故発生日	内容
8月2日	ナースコールマットに反応があり、訪室。職員が歩行介助をする際に入居者様から目を離してしまい、転倒、骨折に至った。
10月4日※1	右足の腫れに気づき、整形外科に受診。右大腿骨骨折と診断を受け、手術、入院となった。
10月21日	職員を呼ぶ声が聞こえるため、訪室。仰向けで倒れている入居者様を確認。頭頂部右側に腫脹。左肩から腕にかけて痛みあり、整形外科を受診。頭部は、異常なし。左鎖骨骨折との診断を受ける。
11月6日	食堂で車いすから立ち上がり、転倒。右大腿部に腫脹と熱感があるため、整形外科を受診。右大腿骨大結節部の骨折と診断を受ける。
12月16日※2	自室のベッドとポータブルトイレの間に倒れているのを確認。右大腿部に痛みがあり、整形外科を受診。右大腿骨骨折と診断を受け、手術、入院となった。

※1 に対して、腫れを発見した時点で、整形外科に受診をしました。整形外科ではねじれの力が加わったと診断を受け、総合病院に紹介状を書いていただき、手術の適用となりました。ねじれの力が加わる場面として、私たちは、移乗介助を行う場面が、ねじれの力が加わり、骨折にいたったのではないかと思います。適切な介助方法について、職員に周知し、再発防止に努めました。要介護⑤で、ご自身では、身動きがとれない方の骨折でしたので、ご家族様には、施設の過失を認め、謝罪を行いました。今回の件で、ご家族様からは、自分でしたかもしれないのというお言葉もいただきました。日頃からの関係性も大変、重要になってくると思います。入居者様、利用者様の安全を守る責任がありますので、引き続き、事故防止に努めていきます。

※2 に対して、転倒のリスクがある利用者様でしたので、ナースコールマットを設置し、動き出しの際には、すぐに駆けつけ対応ができるようにしていました。しかし、対応は、夜間帯のみで設置と周知をされていました。ナースコールマットを使用することは、リスクの高い利用者様であると思いますので、夜間帯だけでなく、日勤帯も使用していれば、予防ができていたかもしれません。入居者様、利用者様の対応の共有についても、統一ができるようにアセスメントシートの活用し、情報共有と対応をしています。

ヒヤリハット種別（年間延べ件数）

転倒	表皮剥離	誤薬	利用者間トラブル	忘れ物	骨折	その他
165	29	12	4	5	4	139

*ヒヤリハットの報告件数は、前年度に比べると、転倒では、28件の減少がありました。

しかし、誤薬に関して、12件の報告があり、薬効が強く出たり、急変をされたりということはございませんでしたが、命に関わることなので、特に注意をしていきます。発生の時間帯をみると夜勤明けの職員による誤薬が多くありましたので、声だし、指差し確認を徹底し、誤薬を防いでいきたいと思っています。

16. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4月1日	開設記念日（行事食）	ご馳走を頂き皆さんで開設記念をお祝い。
9月18日	敬老行事	敬老の日、お祝い膳でお祝い。
10月31日	ハロウィン	職員が思い思いに仮装をし、お菓子のプレゼントを実施。
12月25日	クリスマス	回転寿司を実施。 職員が、サンタクロースに扮してプレゼントを配布。
1月1日	元旦昼食会	昼食会にて新年をお祝い。

17. リハビリ状況等

令和4年3月末

区分	場所	実施日	担当者	内容	人数	備考
ベッドサイドリハビリ	居室	月～金	作業療法士	機能維持訓練 環境整備	7名	対象者に 週2回以上実施
グループリハビリ	東棟1F フロアー	月～金	OT 補助	歌・体操 脳トレなど	62名	作業療法補助 出勤日に実施
OT リハビリ	機能訓練室	月～金	作業療法士	機能訓練 ADL 練習 物理療法など	24名	個人の状態により 回数は、異なる

音楽療法	東棟1階 既設棟食堂	月3回	音楽療法士 OT補助	歌唱・体操 楽器演奏等	85名	1グループ 10～15名 2ヶ月1回参加
口腔体操	食堂 各居室	毎日	介護職 生活相談員 看護師	口腔体操 口腔マッサージ 発声など	87名	対象者に 週2回以上実施

18. 施設整備状況

《物品購入》(1件10万円以上)

検収月	物 品 名	数量(単位)	税込購入費(円)	リース利用の有無
4月22日	低濃度PCB廃棄物収集運搬処分	1台	844,140円	無
2月10日	福祉の森用PC追加 インターネット用PC更改	2台	496,760円	無

《整備事業》

実施月	整 備 事 業 名	税込事業費(円)	リース利用の有無
6月17日	防犯カメラ設置工事	3,850,000円	無
12月25日	東棟給湯ボイラー更新工事	8,690,000円	無

19. 事業目標に対する総括

【特養全体・目標】

- (連携) (1) 職員間・事業所間で、相手の気持ちに配慮した連携を実践し、支援をスムーズに行います。
(2) 情報提供をする際、受ける際は、責任を持って、その後の経過も含めて対応をします。
(3) 職員同士が認め合い、ともに成長できる職場環境を構築します。
- (安全) (1) 介護・支援の基本を再確認、実践するための研修を持続的に行います。
(2) 南勢カトリックに来て良かったと言っていたけりよう、入居者様、利用者様の心身の安全を確保します。
(3) 前年度より、介護事故の発生件数を50%減らします。
- (地域交流)
(1) ほっと一息・予防教室等、地域交流事業に様々な職種が参加し、施設全体で住みよい地域作りに貢献します。
(2) 南勢カトリックのファンを増やせるよう情報発信を行います。

(連携)

- ・入居者様、利用者様の支援において、情報共有をし、連携していくことの大切さを伝えました。相手が何を求められているのか。人それぞれで価値観が違ふため、その摺合せに時間を要しています。選択に迷った時は、南勢カトリックに来て良かったと言っていたけりよう選択をしていくように伝えていきます。

(安全)

- ・介護事故においては、令和5年度、7件に比べ、令和6年度は、5件と2件の減少となりましたが、目標には、未達となりました。入居者様、利用者様の現場への情報伝達と適切な支援を行うため、令和7年度は、アセスメントシートを活用し、統一した支援ができ、安全を確保していきたいと思ひます。研修を通して、啓発活動を実施していますが、研修をして終わりではなく、その後の進捗も含めて、職員の意識向上をこれからも実施していきます。

(地域交流)

- ・特別養護老人ホームでは、Instagramにて、取組の発信を行いました。就職説明会や採用面接の際など、Instagramをみましたという声もいただきました。ほっと一息事業においては、地域の方の声を直接聞ける機会になったと参加職員からの声がありました。特別養護老人ホームを知っていただく機会をたくさん発信し、ファンの獲得に努めてまいります。

【介護・南棟目標】

(連携)

- (1)職員間で良い支援は認め、気になる事や不適切に思う事に対してお互いに声を掛け合い、チームワークを向上させる。
- (2)報告・連絡・相談がしっかりと出来るようにし、入居者様へのサービス力を UP します。

(安全)

- (1)入居者様の心身の状態に配慮し、介護事故を未然に防ぎます。
- (2)入居者様の ADL の把握と介護技術の向上を行い、適切な介助で支援します。

(地域交流)

- (1)ショートステイの荷物の忘れ物0を目指し、南勢カトリックに来てよかったと言っていただけるよう入居者様の生活の様子をご家族に発信します。

(連携)

- (1)(2)に対して、決められた手順通りに履行できていない職員に対して、お互いに声をかけあい統一した支援ができるように努めました。また、入居者様、利用者様の対応について棟の職員間で話し合い、意見交換の場を持ち、対応を検討しました。

(安全)

- (1)(2)に対して、事故を未然に防ぐために職員ができる限り、付き添い、介助を実施しました。付き添うことで気が落ち着くことがあったことは、成果だと思います。職員が十分に配置できない日などは、他の棟の職員と連携し、事故を防いでいきます。また、誤薬については、事故発生防止委員会の決められた手順に沿って、配膳、配薬を実施しているが、夜勤明けの職員に誤薬等が多くみられる傾向があるので、このことも声を掛け合い防いでいきたいと思っています。

(地域交流)

- (1)に対して、ショートステイ利用者様の退所時の忘れ物対策として、退所時にカバンに入れていない物をメモし、情報共有を実施しました。忘れ物については、チェック忘れやカバンに入れるのを忘れることもあったが、概ね取組ことができたと思います。忘れ物があるとご利用いただいた印象が悪くなることを念頭に置き、対応をいたします。

【介護・中央棟目標】

- (1)職員同士声を掛け合いサービスの向上を目指します。
- (2)利用者様 1 人 1 人とのコミュニケーションを大切に相手の気持ちを配慮した介助を行う。
- (3)月に 2 回(日曜日または入浴が無い日)にレクリエーションを実施。

- (1)に対して、新規入居者様・利用者様の対応、ひやりはっと事例について、対応方法を担当職員と意見交換ができました。また、担当する棟の職員だけでは対応が難しい時は、他の棟を担当する職員にも声をかけて、相談、協力することができました。

- (2)に対して、業務の多忙により気持ち的に余裕が無い時や、不意に利用者様が危険な行為をしようとする時に「ちょっと待って」等の言葉かけをする時もありました。何をする時にも声をかけることは忘れないようにしましたが、言葉の言い換えや選び方にも気を付け相手の気持ちに配慮をした介助を実施していきます。

- (3)に対して、回数に関しては、月 2 回レクリエーションを実施できました。レクリエーションの内容が、同じレクリエーションを実施する時があり、バリエーションが少なかったように思います。また、参加していただく入居者様、利用者様も偏りができてしまったように思います。レクリエーションの時間を確保できるように勤務表を作成時出勤者数の調整を依頼し、計画を立てて、レクリエーションを提供していきます。

【介護・北棟目標】

- (1)棟内の課題を共有し、改善を行う
- (2)入院数を減らせるよう口腔ケア、陰部洗浄を継続して行い入居者様の QOL を向上させます
- (3)月1回外へ出る機会を持ちます(日向ぼっこなど)入居者様の暮らしの様子を御家族に発信します

- (1)に対して、連絡ノートを準備し、入居者様、利用者様の気づいたことや対応方法について共有をしました。また、出勤時には、確認をすることを忘れないように声もかけていきました。情報量も多くなってくるため、整理をしながら、サービスの提供が滞らないように努めました。

- (2) に対して、昨年度からの取り組みを継続して実施しました。朝、昼、夜と3回の口腔ケアを実施する習慣ができてきていると思います。胃ろう造設者は、特に痰の貯留や口腔内の乾燥が目立つため、口腔ケアの回数を増やし対応をしました。陰部洗浄についても、洗浄液の購入をし、入居者様、利用者様に実施をしました。結果、誤嚥性肺炎、尿路感染症による入院の減少につながったと思います。
- (3) に対して、月に1回、お部屋の外に出る機会を作りました。夏場や冬場は、暑さ、寒さが厳しく外へ出る機会を作れませんでした。勤務人数によって、予定をしていた外へ出る機会を作ることもできないこともあったので、計画立てて、実施していくように取り組みます。

【介護・東棟目標】

- (連携) (1) 職員同士でコミュニケーションを取り、円滑な情報共有を出来るようにする。
- (安全) (1) 事故防止を出来る様に利用者の日々の状況を把握する/丁寧な声掛け、介助を行い職員同士が注意しあえる環境を作る。
- (地域交流) (1) 東棟通信を継続して行い、家族様に安心を届けていく/南勢カトリックのファンを増やすためにも、ショート利用者の荷物の返し忘れを無くす

- (連携) に対して、早番の業務負担が大きくなっているとの声が多く上がり、業務見直しを実施しました。見直しを行ったことで、1人にかかっていた比重が分散され、負担が軽減されたという声も聞かれるようになりました。声が上がってきたことに対しては、職員間で、情報共有し、早番業務に限らず、業務見直しを行い、業務改善に取り組んでまいります。
- (安全) に対して、丁寧な声かけ、介助に関しては、職員一人一人が気を付けて、取り組むことができたと思います。しかし、気になることがあっても、遠慮があるためか、注意をし合える環境ができていたとは言えません。また、事故防止についても、情報共有と職員の認識の違いにより、入院にいたったケースもありました。
- (地域交流) に対して、東棟通信を年4回、ご家族様に発行しました。継続して、東棟通信を発行することで、職員同士の協力やアイデアが自発的に出るようになりました。ショートステイの荷物の返却の忘れがないようにカバンに入れていないものなどをリストアップし、忘れ物がないように努めました。

【看護部目標】

- (連携)
- ・常に相手の気持ちに配慮し、相手を責めることなく相手を認めコミュニケーションを図ることで、スムーズに支援が行えるよう努める。
 - ・医務室内での伝達は個々の解釈が異ならないよう常に情報を共有し、確認すると共に、日誌への記載漏れの無いようお互いに声をかけ合い実践していく。
 - ・部署内、他部署間でも不適切と思われる場面に遭遇した際に、注意し合える信頼関係を構築し、共に成長できる職場を目指す。
- (安全)
- ・身体状況の確認、継続して観察を行い、状態の改善に努める。
 - ・医務室内での勉強会を継続し、疑問に思ったことは積極的に自分が理解すると共に、勉強会へ議題を提供し、共有する。
 - ・医務室内において、処置内容、実施状況等お互いに声を掛けあいながら、確認、実施することで医務室内の事故0を目指す。
- (地域交流)
- ・住みよい地域づくりの一旦として、ほっとひといき・予防教室等に参加する。
 - ・南勢カトリックに行きたいと言っていたら、施設からの情報発信には積極的に関わりを持つ。

- (連携)
- * 声かけの仕方や相手の気持ちに配慮するように心掛けるようにしているが、ついつい自分が感情的になったときに配慮に欠ける対応になってしまうこともあったように思います。来年度も意識して行動できるようにし、職員間でコミュニケーションをとり、スムーズに支援が行えるように努めていきます。
 - * 記録の漏れがないようお互いに声をかけて注意をしているが、業務を遂行することだけで終わってしまい、記録に漏れがみられる時があります。特に緊急な対応事例がある時は特に記録の漏れがみられました。
 - * 記録の漏れがないように声かけと意識付けを行っていきます。
 - * 各部署との連携が取れていないことがあるのを実感することがあり、今後もスムーズな連携が取れるよう心掛けていくと共に、検討事項があれば随時、検討していきます。

(安全)

- * 処置等の評価日は、医務室内で声を掛け合うことで、継続して経過観察が実施出来ています。特に今年度はスマートフォンを活用し、適宜、画像共有し全員で確認し実践することができました。
- * 部署内での勉強会では、実務に沿ったテーマで勉強会を実施し、反映をしていきたいと思います。

(地域交流)

- * 3月、ほっとひと息に参加をしました。地域の方と直接交流する機会を待つことができました。また、阿坂老人会奉仕作業に参加をし、地域の方との交流を行いました。

【事務部目標】

(連携)○連携することで生産性の向上に努めます

- ・連携のための時間を大切にします。
- ・自身のこととして真剣に考えます。
- ・信頼しあえる関係の構築に努めます。

(安全)○ご利用者、職員の安全確保に努めます。

- ・計画的な施設整備・環境整備を行います。
- ・小さな気づきを大切に、リスク検討を行います。

(地域交流)○南勢カトリックのフアン増加に努めます。

- ・SNS での特養の情報発信に努めます。

1) 中身の見える化「透明性の高い」運営を行います

- ・収支の見える化、情報発信に努めます。

(連携)

- * 相手の業務で細かい部分までは分からないところはたくさんありますが、わからなくても相談を受けたり、提案したりと真剣に考えて協議するといった時間を大切にできた1年です。そのことで他の人がしている業務への理解が深まり、また他の人の業務に対して想像できる範囲が広くなりました。
結果、今まで気づけなかった部分への配慮ができるようになり、相手の業務の効率化ができたことで自身の業務の生産性を上げることができたと部分があると感じています。

(安全)

- * 年単位での備品や設備整備の協議は行いましたが、突発的な修繕も多く計画通りにいかない部分もたくさんありました。もう少し長期的な見通しの中からその年の計画を立てることができるようになりたいと思います。
- * 環境の整備においては、今まで整理できてこなかった帳票類の整理や保存年限の確認をすることができし施設内の整理整頓の基準が作りを進めることができたと思います。

(地域交流)

- * 令和6年度はInstagramへの投稿回数を大幅に増やすことができました。
日常の中で写真として撮れる素材はたくさんありますが、意識していないとなかなか写真に撮ることはできません。今年度は、Instagram掲載のため、当番制にして、月の写真撮影の当番を決めましたが、当番でない職員も、良いと思った場面は写真に収められるようにできればと思います。

1) 中身の見える化「透明性の高い」運営を行います。

- * 今年度は事業計画遂行に必要な部分によりクローズアップした形での収支報告を行いました。
稼働率や収入面など、特養の職員が提供しているサービスに対する対価の部分が見えやすいように情報提供できたと思います。今後はデータを元により具体的な改善点の提案ができるようになればと思います。

【総合支援部目標】

(連携)

1. 職員と事業所間で協力し合い、円滑な支援を提供する。
2. 責任を持ち、情報の受け渡しを改善し、継続的なフォローアップを行う。
3. 職員同士が尊敬し合い、共に成長できる職場環境を整える。

(安全)

1. 介護・支援の基本を確認し、継続的な研修を通じてスキルを向上させる。
2. 入居者様や利用者様の安全を確保し、満足度を向上させる取り組みを強化する。

(地域交流)

1. 地域交流事業に積極的に参加し、地域社会に貢献する。
2. 南勢カトリックのファンを増やすために、積極的な情報発信を行い、地域との結びつきを強化する。

(連携)

＊職員および事業所間での連携を図りながら、急な看取り対応や、短期入居者の調整、感染対応等、多様な状況に柔軟に対応しました。ホワイトボードや口頭での引き継ぎ確認などを活用し、情報伝達の工夫も行いましたが、情報の不足や共有の遅れが発生する場面もあり、引き続き改善の必要性を確認しています。

また、職員同士が尊重し合い、共に成長できる環境づくりを意識し、新人職員への定期面談など、育成・フォロー体制にも取り組みました。今後も円滑な支援の実現に向け、部署内外の連携強化を継続してまいります。

(安全)

＊介護・支援の基本の再確認とスキル向上を目的に、下各種研修に継続して参加・実施しました。法人主催の研修では、ノロウイルス感染症対応、災害時の対応。施設内では救命処置(AED)使用、スピーチロック・身体拘束防止、法令遵守や倫理の理解など、幅広いテーマに職員が参加し、意識と知識の向上を図りました。一方で、転倒・骨折による事故が続き、医療費負担や苦情の発生もあり、今後はリスク説明やマニュアル整備を含めた対策の強化が求められます。安全で安心できる支援体制の維持と、入居者様・利用者様の満足度向上に向けた取り組みを進めていきます。

(地域交流)

＊地域社会との関係強化を目的に、下半期も様々な地域交流活動に参加しました。阿坂老人会の奉仕作業やほっと一息への参加、松阪合唱コンクールでのぬくもりの家のサポート参加などを通じて、地域の方々からの温かい反応や期待の声を直接受ける機会を得られました。これにより、南勢カトリックへの理解や関心が深まったと感じています。また居宅介護支援事業所へのチラシ作成や、地域ケアマネージャーとの研修参加など、法人外との関係づくりにも取り組み、地域連携・情報発信の基盤整備を進めています。

【3】デイサービスセンター（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

一年間の概況

年間稼働率 75.3%【R3年 70.1% R4年 67.5% R5年 66.1%】

昨年より稼働率 9.2% 総日数 800 日程増やすことができました。

その要因として

①重度者の集客ではなく軽度者も含めてとにかくたくさんの方に来てもらえるようシフトチェンジしたこと。

②軽度者が多くなったことで登録抹消者数が昨年に比べて半減したこと。

③外部向けの営業が実を結び、同じケアマネジャーから紹介されることが増えたこと。

などが上げられます。

今後の課題

更なる新規獲得で定員枠を埋めていく事も必要ですが、同時に短時間利用者が 25%程占めていますので、この方々を一日利用に繋げていく取組みを行い、収益向上に繋げていきたいと考えています。

2. 職種別職員数

単位：人

R7年3月末現在				兼務等の状況	R6年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
事業所長	1							
センター長	1							
介護職	3	3	(2.6)	生活相談員				
看護師	1	4	(2.4)	機能訓練指導員				
生活相談員	3							
事務員		1			1			
機能訓練指導員	1	4	(2.4)					
運転士		1		シルバー人材				
用務員		2						

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	517	563	521	585	581	594	643	617	569	586	565	618	6,959	579
新規利用	2	4	2	2	2	1	1	3	1	3	2	3	26	2.1
利用中止	3	1	0	0	5	0	0	0	0	2	2	4	17	1.4

4. 地域別利用者分布（R7.3.31 現在）

地区名	人数
伊勢寺、岩内、美濃田	14
大阿坂、小阿坂	23
深長、八重田、曲	7
その他	33
計	77

5. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
57	60	60	60	63	67	64	71	73	73	72	72

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比(%)
現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	16	18	16	12	9	12	8	11	9	9	9	13	142	11.8	2.0
要支援2	28	25	27	42	44	42	43	43	39	37	37	42	449	37.4	6.4
要介護1	149	165	158	182	183	179	187	185	180	213	214	208	2,203	183.5	31.6
要介護2	217	237	219	243	245	240	259	246	217	212	212	187	2,734	227.8	39.3
要介護3	46	51	40	51	47	80	99	87	75	82	56	111	825	68.7	11.9
要介護4	35	40	36	39	36	28	32	32	28	12	19	35	372	31.0	5.4
要介護5	26	27	25	16	17	13	15	13	21	21	18	22	234	19.5	3.4
合計	517	563	521	585	581	594	643	617	569	586	565	618	6,959	579.9	100

8. 研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
R6 年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】	三重県健康福祉部 福祉監査課監査班	6/8 まで	デイサービス	所長
安全運転管理者研修	三重県安管協議会	6/8/17	華王殿	所長

9. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	苦情申立者	内容	担当者
R7/1	介護情報の公表	パソコンでの更新	所長

10. 苦情受付状況

受付年月日	苦情申立者	内容
①R6/9/17	娘様	送迎時の対応について
②R6/9/25	息子様	職員の対応について

○改善状況

①鍵は本人が触るので、ポストではなくクーラーボックスに入れるやり取りに変わったはずなのにデイサービス側で情報共有できていない。

⇒当該職員の情報共有不足、カンファレンスノートの見落としが原因でした。当該職員の意識の問題ですが、デイサービスとして同じミスがないようにカンファレンスにて周知を致しました。

②自分で検尿が取れずデイサービスに頼んだが、嫌そうに「病院で取れなかったんですか？」と言われた。職員の対応が不快だった。

⇒ケアマネジャーだけでなく、ぬくもりの家やヘルパーもずっと利用されている方であり信頼を損なう発言、態度であったことを謝罪させていただきました。本人からも息子様に直接謝罪をさせてもらいました。今後は気持ちの良い対応を努めていきます。

11. ヒヤリハット状況

尻もち・転倒	入浴（入浴場・脱衣場）	薬	忘れ物	接触による怪我	食事・おやつ
6件	7件	1件	件	1件	5件

今年度も大きな事故なく1年が過ぎましたが、20件のヒヤリハットが見られました。

件数は一昨年に比べて減っていますが、同じ利用者相手に水分のトロミの付け忘れミスが3回（9月、10月、3月）もありました。対応した職員はそれぞれ違いましたが、繰り返すという事はヒヤリハットが生かされていないことになります。大きな事故に繋がらないように意識していく必要性を感じます。

12. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
6/7/1	ご本人様	胃を全適しているので食事があまり食べられません。おかずをミキサーにしてもらったら完食できました。お風呂もさっぱりと気持ち良かったし、食事は全部食べられたし昔の友達に会えるとしても気に入りました。

6/8/13	ご本人様	家で転倒し圧迫骨折しました。車いすで少し動くだけでも痛かったけど今ではシルバーカーで歩けるようになりました。家で寝ていたら弱っていただけだったと思いますが、週 3 回通い運動できるので元気になったと思います。新しい友達もできました。ありがとう。
7/2/10	ご本人様	先生が低温やけどがきれいになっていたのびびっくりしていました。毎日デイサービスに来て看護師さんに丁寧に処置をして頂いたおかげです。感謝しています。足が悪くなってから食事の準備も大変ですが夜のお弁当を持って帰ることができて本当に有難いです。

1 3. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	383	417	365	415	406	447	493	459	419	379	377	426	4,986

7 割が訓練実施。一昨年は 3700、昨年は 4300 ですから随分リハビリ実施者が増えています。

1 4. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8/12～8/19	夏祭り	おみこし・魚すくい・お菓子釣り・スイカ割り・お楽しみ抽選会
9/18～9/23	敬老週間	タオルをプレゼント
10/14～10/19	運動会	洗濯ばさみリレー・いろいろリレー・大玉転がし・玉入れ・パン取り競争
12/19～12/25	クリスマス会	R5 年スライドショー・感謝状授与・キャンドルリレー・ケーキタワー・サンタさんへのプレゼント

1 5. 施設整備状況

◇ 整備事業

実施月	整備事業名	税込事業費（円）	リースの有無
6.5	冷却水ポンプ交換作業	627,000 円	無

◇ 物品購入（1 件 10 万円以上）

検収月	物品名	税込み購入額	リースの有 無
6.7	コピー機入れ替え	900,000 円（月 18,370 円）	5 年リース有

1 6. 事業目標に対する総括

① 相手を知ることを理解することに努めます。

一人一人の職員が意識して業務に臨んでくれたと思います。人員が不足する中でもご利用者様へは各自対応してくれましたが、余裕がない状況が長く続いていることから。この点を良い報告へもっていけることで職員間でももう少しお互いが配慮し合える関係性作りができればと考えます。

他事業所へは全体研修などを通して知り合い話し合う事が少しずつできてきています。

② 危機管理への意識を高めます。

転倒などから大きな事故に繋がることはなく一年頑張ることができました。まだまだ不十分ではありますが、環境整備（危険個所を片付ける等）をすることで危険を排除することもできましたので一つずつですが成長に繋がっていると感じています。

感染症に対しては習慣づいた部分が大きいのとは思いますが、冬の流行時期であっても蔓延することなく事業がストップする事がなかった点は大きかった。

③ 地域との関わりを大切にします。

ほっと一息では繰り返し参加することをご利用者やご利用者家族にも職員側から話をすることもできていましたし、やはり継続することが良い結果に繋がっていると感じます。

デイ通信の継続も評価できると思います。

【4】ホームヘルプサービス（訪問介護、総合事業 訪問型サービス）

1. 総評

- ＊当初の予算に対し稼働率 92.2% 訪問回数月平均 463 回（R 6 年度 467 回／月）
支援の内訳は身体介護 47.2%、身体＋生活 33.3%となっています。前年に比べ身体介護は増加しましたが、身体＋生活は減少しました。生活支援は増加傾向です。通院乗降介助は横ばいです。
- ＊毎日介入がある方が入院や入所等で介入中止となった場合リスクは大きいです。感染症予防対策によるキャンセルが相次いだ際にも多大な影響があることを痛感しました。
- ＊6 名体制となり人員は揃い、在宅・ケアハウスでの入浴支援が増加し目標を達成できた月もありましたが、年間目標を達成することは難しかったです。
- ＊介入時の体調不良者に対する判断が難しかったことがありました。感染症について再認識していただく為、お知らせを改めて作成し配布しました。

2. 事業実施地域（令和 6.4.1～令和 7.3.31）

小阿坂町	7	笹川町	2	伊勢寺町	5	深長町	3	美濃田町	2
井村町	4	桜町	1	大黒田町	4	川井町	4	ケアハウス	21
大津町	1	大河内町	1	鎌田町	1	日丘町	2	大阿坂	2
八重田町	2	春日町	1	岩内町	1	嬉野町	3	塚本町	1
								合計	68

＊年間を通し 17 の地域 63 名の方々への訪問がありました。

3. 職種別職員数（令和 7.3.31 現在）

（ ）内人数は再掲人数

	常勤	非常勤	常勤換算	兼務状況	採用	退職
管理者	(1)			サービス提供責任者		
サービス提供責任者	1	1				
訪問介護員	1	3	(2.4)		1【非】	

4. 利用状況、訪問回数

単位:回

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護	425	431	425	473	444	430	459	462	411	405	367	357	5089
総合事業	13	24	20	17	19	18	27	18	16	16	13	15	216
乗降介助	11	9	20	15	15	21	19	16	23	30	29	18	226
初回・緊急加算	4	2	3	5	2	4	2	3	0	2	2	0	29
有償ケア	1	1	4	0	1	3	3	3	3	1	1	2	23
有償輸送	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4
合計	454	467	472	510	481	476	510	502	453	454	414	394	5587

5. 営業日数

単位:日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360

6. 利用実人員

単位:人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
45	45	45	47	45	48	46	49	44	48	48	44	554

7. 要介護状況

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	0	0	0	1	1	1	1	2	1	1	1	1	10
要支援 1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	9
要支援 2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
要介護 1	18	16	16	13	14	12	13	14	14	13	13	13	169

要介護2	14	15	16	19	18	19	18	19	19	19	19	18	213
要介護3	5	4	5	4	6	6	5	6	4	8	9	7	69
要介護4	3	4	2	2	2	4	3	3	3	3	2	2	33
要介護5	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	14
未認定	2	2	2	4	2	1	1	1	0	1	1	0	17
合計	45	45	45	47	45	48	46	49	44	48	48	44	554

8. 利用期間状況（令和7.3.31 現在）

単位:人

期間	男	女	合計
1年未満	7	17	24
1年～3年未満	8	13	21
3年～5年未満	1	15	16
5年～10年未満	3	3	6
10年以上	0	1	1
合計	19	49	68

9. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	98	104
最低年齢	66	59
平均	85.8	87.9
全体平均	87.3	

10. 施設内研修

《自主研修会》

実施日	内容
R6.9.25	ケース記録用紙の見直し・検討
R6.11.10	調理実習
R7.2.14	高齢者虐待防止
R7.3.13	各利用者の服薬状況確認

11. 施設外研修

実施日	内容
—	

12. 監査・介護情報の公表調査等

実施日	名称	内容	担当者
R7.1.31	介護サービスの情報の公表	パソコンで入力	角野

13. 苦情受付状況・「ヒヤリはっ」と状況

＊買い物代行4件、介入時間の間違い4件、薬2件、ふらつきや転倒3件など18件のヒヤリが報告されました。

小さい事もヒヤリとして上げる中でヒヤリハット数が昨年より減少したことは良かったですが、介入時間のミスなど思い込み等によりミスもありましたので、まだまだ改善の余地はあると考えています。

14. ありがとうメッセージ

受付日	申し出者	内容
R6.4.29	ご本人	かかむことができないのですが、先日来てもらったヘルパーさんは床が一部汚れていることに気付きお湯できれいに拭いて下さいました。あまりにも当たり前のようにさっと動いて下さったこと本当に嬉しかったです。
R6.7.1	ご本人	坐骨神経痛により痛みが強く自分の身の回りのことが出来なくて困っていましたが、ヘルパーさんが毎日来てくれることで何とか生活することができています。
R6.9.3	お嫁様	ヘルパーさんが来てくれるのを楽しみにしています。色々と話を聞いて下さり本人も嬉しかったと思う。あんな（頑固）父の相手をしてくれた職員さんには家族一同感謝しています。

R610.14	ご本人	ヘルパーさんは心底優しく・よく気が付いて・素晴らしい人が集まった事業所ですねと話がある。 介助は安全を一番に考えて支援、会話はほどほどで口より手と気遣いを優先、ふらつきを予測したように手が出て支えてくれます。6人は会社の宝物ですよ。
---------	-----	---

15. 整備事業・物品購入

《整備事業》

実施月	整備事業	税込事業	リース利用の有無
R6.11.15	車検(三重 581 の 910)	33,919 円	無し
R6.11.15	12ヶ月点検(三重 581 こ 6867)	21,274 円	無し
R7.1.15	12か月点検(三重 880 あ 2645)	47,762 円	無し

16. 事業目標に対する総括

1. 連携

連携することでより良い利用者支援を行います。

① 報・連・相を実践しチームケアの質向上に努めます。

＊些細な情報も報告し合い、問題がある場合には解決できるよう他事業所にも報告相談するよう行動しました。

② 相手に伝わりやすい情報の発信力、受け止める受診力を養います。

＊知り得た情報を相手に理解してもらえよう伝えました。情報量が多く、理解不足だったこともありました。

2. 安全

利用者第一の気持ちを忘れず行動します。

① 利用者様・ご家族の気持ちに寄り添った支援に努めます。

＊思いを聞き取り、みんなで共有するよう努めました。思いを汲み取りながら思いやりを持って支援できたと思います。

② リスクを考えて行動し事故を未然に防ぎます。

＊危険を感じた時には発信し、安全に支援できるよう相談しながら行動しました。事故に繋がることはありませんでした。

3. 地域交流

① 社会人としてのマナーと節度ある言動に努めます。

＊カトリックの一員であるという意識を持ち、自ら明るく接するよう行動しました。

② 地域との交流に参加し顔の見える関係作りをします。

＊ほっと一息参加の回数を重ねるごとに、メンバーの一員として少しでも役立てるようになったと思います。

【5】居宅介護支援事業所

1. 総評

1年間の概況：稼働率 95%でした。目標数値を高く設定したので未達になっていますが、ほぼほぼ良い数字だと思います。定期的な新規依頼や収益率の高い要介護 4・5の方を継続して在宅生活継続していただいた事が非常に大きかったです。

良かった事柄：主任介護支援専門員が 1 名増えた事と松阪市によるケアプラン点検にて高評価を得られた事です。

今後の課題：事業所の高齢化が進んでおります。とは言うものの介護支援専門員のなり手が少なく当法人だけではなくどここの事業所でも課題になっていると思います。

法人内異動を考えても処遇改善がない・夜勤手当がない等の理由で給与面を考えると異動できない現状があります。

2. 活動区域別状況 (R5.4. 1～R6.3. 31)

単位:人

小阿坂町	30	伊勢寺町	36	日丘町	12	深長町	18	岩内町	6
八重田町	12	大阿坂町	17	小野町	4	美濃田町	11	野村町	2
川井町	7	嬉野町	25	大黒田町	6	中町	1	石津町	1
矢津町	2	久保町	2	藤の木町	1	塚本町	2	魚町	1
上川町	1	大津町	1	小片野町	2	鎌田町	2	笹川町	3
新町	1	船江町	2	射和町	2	中央町	1	大口町	1
虹ヶ丘町	1	殿町	4	桜町	1	垣鼻町	1	上ノ庄	1
宝塚町	2	平成町	1	大河内町	1	岡山町	1	小野江	1
田牧町	1	春日町	1	曲町	1	山室町	3	清生町	1
阪内町	1	茅原町	1	五主町	2	井村町	1		
グリーンピア三雲	2	アシスト	2	せせらぎ嬉野	1	シルバーハウス松阪	1		
はあと	1	木の香	1	リールホーム	1	さくら木さん	1	ケアハウス	22

※49 町・236 名の利用者さんと 9 事業所 32 名の関わりがありました。

3. 職種別職員数 (令和7.3.31 現在)

単位:人

	員数			兼務
	常勤	非常勤	常勤換算	
管理者	1	0		主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	2	(1.0)	1名主任介護支援専門員兼務

※経験豊富な平均年齢 59.5 歳 主任介護支援専門員は、2 名

※2 名、退職されましたが、1 名はデイサービスより異動・1 名は採用と言う形で従来の 6 名で乗り切りました。

4. 利用状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	43	41	43	43	41	44	43	43	44	45	43	43	516
介護	162	165	169	164	166	163	168	162	166	163	163	162	1973
合計	205	206	212	207	207	207	211	205	210	208	206	205	2489

※前年度に比べて月にして 11 件ほど少ない利用でした。

※職員の入れ替わりもありケースを増やせなかった事も一理あります。

5. 要介護状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	12	11	11	10	8	9	9	9	8	8	7	7	109
要支援2	8	9	9	10	13	12	12	11	14	14	13	13	138
事業対象	23	21	23	23	20	23	22	23	22	23	23	23	269
合計	43	41	43	43	41	44	43	43	44	45	43	43	516
要介護1	79	80	82	79	77	74	74	74	73	73	68	70	903
要介護2	46	47	51	50	51	53	54	55	59	53	55	53	627
要介護3	21	18	19	17	19	16	21	18	19	20	26	24	238
要介護4	11	13	11	10	13	12	13	10	10	13	10	11	137
要介護5	5	7	6	8	6	8	6	5	5	4	4	4	68
合計	162	165	169	164	166	163	168	162	166	163	163	162	1973

6. 加算状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	3	6	5	5	3	4	4	3	4	3	3	5	48
予防初回	0	1	0	1	0	1	2	0	2	1	0	0	8
医療連携Ⅰ	2	1	2	3	1	1	2	3	2	3	3	0	23
医療連携Ⅱ	5	3	4	2	3	0	1	0	4	3	1	2	28
退院・退所	1	0	1	0	3	1	2	0	1	1	1	0	11
特定Ⅱ	162	165	169	164	166	163	168	162	166	163	163	162	1973

7. 利用期間状況 (R7.3.31 現在)

単位:人

期間	男	女	合計
1年未満	10	22	32
1年～3年未満	23	39	62
3年～5年未満	11	45	56
5年～10年未満	12	46	58
10年～15年未満	1	11	12
15年以上	0	2	2
合計	57	165	222

*介護保険始まって以来の方が2名ご利用いただいております。

8. 年齢別状況 (R7.3.31 現在)

	男性	女性
最高年齢	99	104
最低年齢	59	59
平均	84	86.9
全体平均	86	

9. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実相談	235	209	195	255	217	203	224	202	270	220	171	264	2665
(新規)	2	2	4	5	2	1	2	3	3	4	3	8	39
継続相談	372	346	372	405	329	260	265	271	280	197	205	254	3556

*月平均3件の新規相談がありました。

*第二包括からの依頼が今年度前半は少なく、年度末になりバタバタと増えました。

*ガン末期の方もあり、先出しでサービスは利用されますが申請から認定が追いつかずの状態でした。

*デイサービスが半日利用を提供してくれるおかげで、利用者さんの希望に沿う事が出来るようになりました。

10. 相談状況

単位:件

	訪問	来所	電話	合計
モニタリング	2270	0	6	2276
実態把握	862	10	628	1500
医療連携	45	0	193	238
介護者相談	172	15	418	605
サービス相談	423	16	907	1346
住宅改修・福祉用具購入	112	5	112	229
虐待発見相談	1	0	0	1
成年後見・権利擁護	0	0	0	0
苦情受付・相談	7	0	4	11
書類の申請代行	117	2	21	140
その他	286	10	958	1254
合計	4295	58	3247	7600

*相談内容で多いのは家族さんからですが、デイサービス・ショート・住宅改修・福祉用具レンタル等が上位を占めています。

*ケアハウスでは、ヘルパー介入のスタートが多いです。

11. 施設内研修

《法人内研修》

法人事業報告にて掲載

《自主研修会》

実施日	研修内容	担当
4月20日	事例検討:精神的に不安定で家族の状況も厳しい女性の事例	島田
5月4日	春祭り準備の為に中止	-
6月1日	新人職員入職につき、引継ぎの為に中止	-
7月6日	事例検討:施設を出て念願の自宅生活を開始するも認知や病状管理が困難だった事例	川北
8月3日	事例検例:信念を持った独居男性が持病と並走しながら安心して暮らせる為の支援方法	岡田
9月7日	妻との関係性が悪く喧嘩が絶えない家族への支援方法	下村
10月5日	介護支援専門員の災害での判断や動き方について	島田
11月2日	虐待について	竹岡
11月12日 14日	消火器訓練の実施 指導者:ぬくもり職員(元消防署職員)	全員
11月15日	三法人事例検討会(なでこ・さわやか・南勢カトリック) 方向性が定まらないご夫妻・ご家族の支援について 参加者:島田・竹岡・川北・川上・出口・大山 ケアハウス・デイ・特養職員参加	岡田 下村
12月7日	年末にて訪問多い為に中止	-
1月7日	法人行事と重なった為に中止	-
2月1日	脳梗塞後遺症(左片麻痺)があり日常生活動作が危険で転倒のリスクが高い方の事例	川北
3月1日	令和7年度の役割分担について	島田

12. 施設外研修

《三重県及び松阪市主催》

《主任介護支援専門員取得研修》

日程	内容	開催場所	出席者
11月27日	・オリエンテーション ・主任介護支援専門員の役割と視点	WEB	下村

11月28日	・ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援 ・運営管理におけるリスクマネジメント	ケアハウス 会議室	
11月29日	・人材育成及び業務管理 ・終末期ケア		
12月6日	・地域援助技術(コミュニティソーシャルワーク)		
1月11日	・生活の継続を支える医療との連携及び多職種との連携		
1月16日 17日	・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 (前半)		
2月6日 7日	・個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開 (後半)		
2月19日 20日 21日	・対人援助者監督指導(スーパービジョン)		

＊12日間70時間の講義やグループワークでの研修です。が、それ以外に提供事例を作り、事前学習や振り返りなどを入れると相当の時間を要しております。

＊主任介護支援専門員となると、『利用者』だけではなく『共に働く仲間』の事も心身の状態を把握して支援していかなければなりません。重い業務と言えます。

《三重県介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
4月27日	・令和6年度介護報酬改定について	WEB	4名
5月18日	・介護予防サービス・支援計画書の立て方	ケアハウス会議室	3名

《松阪市介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
6月17日	松阪支部・総会 ・第1回研修会 ・～2024制度改正と今後のケアマネジメントを考える～	WEB ケアハウス会議室	6名
7月23日	第2回研修会 ・ケースから学ぶ高齢者虐待について		5名
8月19日	第3回研修会 ・「バウンダリー・境界線」を切り口に学ぶ クレーマー・カスハラ対応の具体策について		5名
9月19日	第4回研修会 ・在宅業務で連携する為に(薬剤師会合同研修) コミュニケーションシート活用と担当者会議へ円滑に参加	夜間にて	不参加
10月9日	第5回研修会 ～在宅業務で連携する為に～ ・難病制度と難病患者の支援について ・難病当事者と支援体制について ・難病患者の生活設計について(障害年金と障害制度活用方法)	WEB ケアハウス会議室	1名
11月2日	第6回研修会 ～本人主体のケアプランとは？～ ・具体的で評価しやすい目標をともに		1名
12月19日	第7回研修会 ・多職種で防災に備える	年末で多忙の為	不参加
1月20日	第8回研修会 ・本人の希望・尊厳が理念の認知症基本法時代のプラン	WEB ケアハウス会議室	2名
2月12日	第9回研修会 ～リハビリと栄養管理について、現状と今後の取り組み～ ・生活期に必要なリハビリ ・在宅・施設での管理栄養士の関わり ・リハ栄養視点を交え		1名

《事例検討会：第1・第2・第4・第5地域包括支援センター》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
第1地域包括 地域ケア会議			
10月31日	第1回地域ケア会議 ・徳和地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	徳和地区公民館	不参加
1月20日	第2回地域ケア会議 ・第一地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	第一公民館会議室	各2名
3月10日	第3回地域ケア会議 ・幸地区 民生児童委員とケアマネの意見交換	松阪地区医師会2階	

第2地域包括 事例検討会			
5月13日	第1回事例検討会 ・自己主張が強いけど上手に表現できず支援介入が困難	多忙にて	不参加
7月17日	第2回事例検討会 ・閉じこもり支援拒否の利用者と複雑な姉妹関係から支援へつなげられない事例	法人研修と重複	不参加
9月18日	第3回事例検討会 ・自分を取り巻く人への被害妄想があり受診を拒否される方への支援方法	嬉野 社会福祉センター	2名
11月18日	第4回事例検討会 ・認知症初期集中支援チームについて チームの関りや今後の介護サービス利用を検討している事例		2名
1月15日	第5回事例検討会 ・認知症に対して理解が得られない家族の支援について		1名
3月17日	第6回事例検討会 ・末期がんで身寄りのない認知症の方の支援について	多忙にて	不参加

第5地域包括 きゃりああつぷ倶楽部			
6月12日	第1回きゃりああつぷ倶楽部 ・事例発表『必要と思うサービスが導入できない事例』～近隣の不安から関係機関が介入しているケース～	WEB ケアハウス	1名
10月16日	第2回きゃりああつぷ倶楽部 ・令和6年度 介護保険改正について		1名
12月12日	第3回きゃりああつぷ倶楽部 ・事例を通して障害福祉サービスを知る		1名
3月12日	第4回きゃりああつぷ倶楽部 ・事例検討会 家で最期を迎えたいという希望が貧困や独居の為に叶わなかった末期がん患者の事例		1名

1.3. 監査・介護情報の公表調査

実施日	名称	内容	担当者
12月11日	ケアプラン点検支援	1事例を元に行政にて点検・支援をいただく。 (高評価だった)	下村
1月28日	介護情報の公表	パソコン入力	島田

1.4. 苦情受付の状況

受付日	苦情申立者	内 容
7月22日	ヘルパー	ケアハウス入居者に対してケアハウス職員の対応協力不足 ・緊急でヘルパー介入する際にケアハウスの職員が同行も情報提供もしてくれなかった。

9月25日	家族	デイサービス看護師の対応について ・デイサービスに送って来られた際に、依頼された事に対して不快な気分になるような言葉使いをした。
10月27日	ケアマネ	緊急入院された後にケアハウス宿直者の電話対応について ・電話のマナーが悪い ・入居者の個人情報を尋ねたら全て答えた ・いけないと自覚がなかった
10月28日	ケアマネ	ケアハウス職員がプランに沿っての対応不足 ・訪問看護がプラン化してあるにもかかわらず緊急事態時にケアハウス職員の判断にて対応した。 ・同じ事を3回繰り返して改善していなかった。
12月17日	家族	介護支援専門員の対応について ・家族様への早急な連絡調整や説明がなされなかった。 ・サービス計画書に日づけのズレがあり内容も違っていた。

15. 行事

《地域支援事業・ほっと一息》

法人ページで掲載

16. 整備事業・物品購入

《整備事業》

なし

17. ありがとうメッセージ

総数	14件
法人	0件
CA委員	1件
特養	1件
デイサービス	4件
ぬくもり	0件
ヘルパー	4件
ケアハウス	0件
居宅	4件

*今年度は、ありがとうメッセージにつなげることが出来ませんでした。今までで一番低い数字でした。

18. 事業目標に対する総括

***連携：担当者様の目標を共有し達成へとつなげます。**

- ・情報の共有の大切さは理解していても時間の経過により情報が変化してしまい中抜けの情報提供となる事があった。
- ・報告や確認は自分の記憶が新しいうちに行う事が大切だという事を学んだ方も見えた。

***安全：様々な視点によって安全性や正確性を高めます。**

- ・感染症に対してはマスク着用・嗽・手洗いと基本的な事を確実にやっている。
- ・業務以外でも気を緩めることなく、ストレスともならないようにリフレッシュの機会も作った。
- ・頭の中に万が一を考えて行動する事の大切さも学んだ方もおられた。

***地域交流：地域・施設・介護保険・独自サービスで住み良い町を作ります。**

- ・地域の方は『ほっと一息』を非常に楽しみにされてみえるのでやりがいを感じている。
- ・他部所の方と協同で行えるのでカトリックの輪が毎年広がっているように感じた。
- ・カトリックの事を知らない人が多いのでこちらの情報提供ももっと積極的に行う必要を感じた。

<参考資料>

令和 6 年度特養入所者数及び在宅での死亡者数

入所	22 名	死亡	18 名
内訳		内訳	
南勢カトリック	6 名	病院	14 名
他の特養	3 名	自宅	4 名
老人保健施設	3 名	施設	0 名
グループホーム	5 名		
サ・高・住	4 名		
他のケアハウス	1 名		

*当法人への入所が 3 割を切っている状況をどう考えるか?とても大きな課題です。

*カトリックと希望されても入所できない現実がある為に、他の施設を紹介しないといけない介護支援専門員のつらい立場を理解してほしい。

令和 6 年度サービス計画数と各事業所への紹介率(特定事業所集中減算)

令和 6 年 3 月～令和 6 年 8 月(上半期分)					
	総計画数	総事業者数	計画数	当事業所件数	紹介率
ヘルパー	1247 件	23 事業所	314 件	193 件	61%
デイサービス		20 事業所	585 件	254 件	76%
ぬくもりの家				195 件	
ショート		9 事業所	164 件	126 件	76%

令和 6 年 9 月～令和 7 年 2 月(下半期分)					
	総計画数	総事業者数	計画数	当事業所件数	紹介率
ヘルパー	1243 件	21 事業所	311 件	193 件	62%
デイサービス		20 事業所	586 件	279 件	77%
ぬくもりの家				172 件	
ショート		8 事業所	173 件	135 件	78%

*正当な理由なく同一事業所への紹介が 8 0 %を超えると運営規定に反して減算対象となります。

【6】 伊勢寺デイサービスぬくもりの家（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

- ・職員では、3月末日で1名（非常勤職員・調理員）が退職しました。退職が3月末ということで、年度中は職員の入れ替わりはなく、同じ職員で支援する事ができました。
- ・年間稼働率は80.3%でした。事業計画では、85%を目指していたので、未達成となっています。その理由としては、空きがあるにも関わらず、新規利用者様を受け入れることが出来なかった事です。
- ・レクリエーションでは、予定していた行事は予定通りに実施できました。4月には桜をバックに記念写真と11月・12月の周年祭では感謝状をお渡ししています。
- ・新しい取り組みとして、スタンプカード（ポイントカード）を6月から開始しています。スタンプを貯めて、142景品と交換をしました。

2. 職種別職員数

単位：人

R6年3月末現在				兼務等の状況	R6年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
センター長	1		(1)	生活相談員兼務				
介護職	3	2	(5)	生活相談員、調理員				
看護師		4	(1.2)	機能訓練指導員兼務				
管理栄養士								
調理員		2	(0.9)					1
生活相談員	(2)			介護職兼務				
事務員								
機能訓練指導員		(4)	(1.2)	看護師兼務				
用務員		1	(0.4)					
() は兼務								

※3月末で調理員が1名退職しました。

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	442	480	429	466	484	458	489	469	441	416	392	457	5,423	451.9
新規利用	0	2	0	1	1	0	0	1	0	1	1	0	7	0.6
利用中止	0	1	1	2	0	0	2	0	1	1	0	1	9	0.8

※延利用者数…5,423名（R5年度より+16名）、新規利用…7名（5年度より±0名）、利用中止…9名（R5年度より+2名）でした。

4. 地域別利用者分布（R6.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺	16
大阿坂、小阿坂、美濃田	10
深長、八重田、野村、岩内、日丘	5
その他	17
計	48

5. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
49	50	51	48	46	49	49	48	46	44	42	46	568

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	3	3	3	3	2	3	2	2	1	1	1	1	25	2.0	4
要支援2	7	7	7	7	6	7	8	8	7	5	5	6	80	6.6	14
要介護1	27	29	28	26	25	26	26	23	23	22	21	23	299	24.9	53
要介護2	7	7	9	8	9	9	9	10	10	11	11	12	112	9.3	20
要介護3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	41	3.4	7
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	0.8	2
要介護5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1	0
合計	49	50	51	48	46	49	49	48	46	44	42	46	568	50.7	100

* 合計は 568 名でした（昨年度－41 名）

* 開設当時に比べて、要支援の方のご利用が減っています。サービス内容は変更していませんので、要支援の方もターゲットにして新規獲得につなげていきたいと考えています。

8. 施設内研修

《自主勉強会》

研修名	開催年月日	参加職員
【自主勉強会】介護記録について 担当：野口	6月1日（土）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】虐待・身体拘束について 担当：木下	7月27日（土）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】摂食嚥下について 担当：奥田	9月13日（金）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】入浴介助について 担当：森上、谷	12月20日（金）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】認知症の方とのコミュニケーションについて 担当：森本、山中	1月20日（月）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷
【自主勉強会】令和6年度の振り返りと令和7年度に向けて 担当：野口	2月17日（月）	野口、奥田、森上、木下、森本、山中、谷

9. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
認知症介護基礎研修 （インターネット研修）	㈱クーリエ	令和7年2月17日	伊勢寺デイサービス ぬくもりの家	介護職員

10. 苦情受付状況

《苦情報告》 無し

《ひやりはっと（事故）内容》

受付日	ひやりはっと（事故）内容
4月4日	玄関前で座布団を片付けようとされ、別の椅子につまずき転倒。
4月24日	デイ利用後の利用者様からポーチが無いと連絡が入る。翌日にシルバーカー内から見つかる。
5月21日	食前薬の手渡しを忘れてしまう。
6月6日	おやつ提供無しの利用者様に間違えて提供し、食べられてしまう。
8月1日	利用日にお迎え忘れがあり、家族様から連絡をいただく。
8月13日	【車両事故】ゴミ捨て後に、バックした際に停車している車に接触させてしまう。警察に連絡して対応する。
8月14日	機能訓練用の椅子が利用者様の膝に倒れてしまう。
9月19日	富士産業さんに禁止食品を伝え忘れ、代替え食品が届かなかった。
9月20日	同じ名字の方の手帳袋を間違えて入れてしまう。

11月1日	入浴後にパンツを履いてもらうのを忘れ、しばらくしてから本人より申し出がある。
11月7日	禁止食品を間違えて提供する。
11月7日	入浴していないのに、連絡ノートに入浴済のチェックをしてしまい、ご家族からご指摘をいただく。
11月25日	【車両事故】対向車とミラー同士の接触事故。警察に届け出を行う。
3月28日	シルバーカーにつまづき、転倒される。転倒時に誰も状況把握できずに、頭部打撲しているとのことで病院受診する。

* 苦情処理したケースはありませんでしたが、物品の返却忘れ、迎え忘れ、食事の提供ミスなど苦情になってもおかしくないような事例があったために、同じミスを繰り返さないようにしていきたいです。

* ひやりはっと（事故）では、転倒事故が3件ありました。幸いにも長期治療を要するものではありませんでしたので、すぐに問題解決となっています。

* 車両相互事故が、2件ありました。8月13日は車両保険で修理（自車、相手車）しています。11月25日は警察に届け出を行い、少しの傷でしたので修理は行っていません。

1 1. ありがとうメッセージ 無し

1 2. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	392	438	428	434	415	399	371	367	378	368	367	438	4,692

1 3. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
7月10日(水)	昭和歌謡ココロの声さん訪問	【内容】歌、ギター演奏 【参加人数】20名
8月29日(木)	コーラス齋王さん訪問	【内容】コーラス齋王さんの合唱 【参加人数】17名
8月1日(木)、26日(月)、27日(火)、28日(水)、30日(金)	夏まつり	【内容】綿菓子作り、輪投げ、魚釣り、スイカ割り、炭坑節
10月20日(日)	松阪合唱フェスティバル 2024	【参加人数】金曜日にご利用の方・18名 【曲目】憧れのハワイ航路、二人は若い
10月16日(水)、22日(火)、24日(木)、26日(土)、28日(月)	運動会	【内容】玉入れ、借り物競争、菓子食い競争など
11月29日(金)～12月7日(土)	8周年祭	●11月29日『伊勢寺幼稚園、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】18名 ●11月30日『すごろくゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】19名 ●12月2日『おやつ作り(五平餅、杏仁豆腐、写真のスライド)』 【時間】14:00～15:15 【参加者】17名 ●12月3日『職員のダンス(真っ赤な太陽)、ジェスチャーゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】16名 ●12月4日『コーラス齋王様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】22名 ●12月5日『マジック・野田のおやじ様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】16名 ●12月6日『ジャグリング&バルーンアート様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】18名 ●12月5日『フラダンス様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15 【参加者】18名
12月20日(金)	三雲チルドレンさん訪問	【内容】三雲チルドレンさんの合唱 【参加人数】21名

12月23日(月)～27(木)	クリスマス会	【内容】 サンタクロースと写真撮影・プレゼント(クッキー)渡し
1月4日(土)	獅子舞さん	【対象利用者様】土曜日にご利用の方・18名 【時間】13:30～14:00
3月10日(水)	昭和歌謡ココロの 声さん訪問	【内容】歌、ギター演奏 【参加人数】18名

(月例行事)お誕生会、リンパマッサージ、講師の先生によるコーラス・音あそび・健康体操・フラワーアレンジメント・生花・太鼓・フラダンス

1.4. 施設整備状況

《整備事業》

実施月	整備事業名	税込事業費(円)	リースの有無
6, 9, 12, 3月	浄化槽の維持管理業務／日研プラント	39,600円／年	無
6, 9, 12, 3月	浴槽用ろ過機(ろ過装置、薬注装置)の保守点検／ ロンシール機器	162,800円／年	無
6月, 12月	消防機器の保守点検／清水商会	55,000円	無
6月	ディスクバッキン交換(三重502め395)／伊勢自動車	31,130円	無
8月	車検(三重582い527)／伊勢自動車	84,744円	無
11月	ワックス清掃／ヤマオカテクノサービス	55,000円	無
12月	浄化槽清掃費／アーステックタガワ	97,240円	無
2月	貯水庫の水質検査／中部環境技術センター	68,200円	無
3月	浴室用ボイラー修理／㈱エヌエスシー	43,395円	無

*浄化槽の維持管理業務、浴槽用ろ過機(ろ過装置、薬注装置)の保守契約を結んでいます。

《物品購入》(1件10万円以上)

検収月	物品名	数量	税込み購入額	リースの有無
7月	エアコン	1台	126,000円	無

1.5. 寄付 無し

1.6. 事業目標に対する総括

1. 業務連携を行います

*職員間や利用者様・家族様との連携を目標にしましたが、連絡ノートやメモなど書面に記録することで情報発信することができました。特に家族様には必要に応じて電話連絡を行うなど、家族様とも連携ができていますと感じています。

*回覧書類は全員が3日で閲覧するようにしています。しかしこの目標は未達成のために、今後も課題にしていきたいと思います。法人行事の回覧書類が、確認されずにそのまま残っている事がありますので、気を付けていきたいです。

2. 落ち着いた雰囲気を作ります

*利用者様のペースで支援をする事を目標にしましたが、未達成だと感じています。見守り・介助を必要とする利用者様が増えたこと、また脳トレや機能訓練などのできない事が増える利用者様へのサービスの低下が感じられます。業務の見直しや職員の能力アップなどを令和7年度の課題にしていきたいです。

*感染症対策としては、対応を変えることなく、全員が意識して行うことができました。今年は休業することなく営業を続けることができた事は評価できていると考えています。

3. 法人行事に参加します

*ほっと一息ではデイサービスの職員ということで、主に体操やゲームを担当しました。事前に他職員に相談するなど責任を持って準備を行っていたので、今後も継続していきます。

*法人研修では、グループワーク内で積極的な発言が見られていたと感じています。そのために令和7年度は地域の方にも施設の紹介ができるようにしていきたいです。

【7】 ケアハウス

1. 総評

今年も平均入居者が約43名と目標の45名にも達する事ができなかった。問合せ、見学は一定の数あるが、入居に結びつかないケースが多い。迅速かつ、親切的な対応が求められる。
 今年はコロナの影響で取りやめていた外出（わたせい貸し切り）を実施することができ、また控えていた食堂内での誕生会も通常実施することができた。感染対策はもちろん継続であるが、利用者様の楽しみにも目を向けて、サービスの質を向上させていきたい。又、食事が一番の楽しみと思うので、喜ばれる食事の提供を委託業者様と協力してやっていきたい。

2. 職種別職員数(R73.31 現在)

単位：人

職種	員数		兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		事務員兼務				
介護職	1	1					
(管理)栄養士	1	1					
生活相談員	1			1		1	
計	4	2					

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用人員		40	40	41	41	42	43	43	43	44	44	44	45	510	42.5
入所人員	男		2		2									4	
	女				1				1	1		1		4	
退所人員	男									1			1	2	
	女			1		1							1	3	

4. 入退所理由

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	7	死亡による	1
老人保健施設		在宅復帰	
養護老人ホーム		長期入院	
ケアハウス		特養	2
病院		他施設	2
短期入所継続		その他	
他施設	1		

5. 要介護状況（R7.3.31 現在）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
総合事業	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	22	1.0
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	22	2.8
要支援2	4	4	4	2	4	4	4	4	3	3	3	3	38	2.8
要介護1	11	11	12	12	11	10	11	11	12	13	13	12	139	11.0
要介護2	10	10	10	12	12	12	13	14	15	14	14	14	150	11.3
要介護3	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	5	48	4.3
要介護4	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	0.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.3

入居期間状況(R7.3.31 現在)

単位：人

期間	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1	3	2	3	0	0	9
女	4	7	12	9	2	2	36
計	5	10	14	12	2	2	45

7. 年齢別状況 (R7.3.31 現在)

単位：歳

	男性	女性
最高齢	89 歳	97 歳
最低齢	65 歳	75 歳
平均	77 歳	86 歳
全体平均	82 歳	

8. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
職員会議	施設長、課長、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回
課題解決会議	同上	毎月1回
事故発生防止委員会	同上	毎月1回
身体拘束委員会	同上	毎月1回
入居判定委員会	同上	随時
給食会議	施設長、課長、栄養士、委託業者	毎月1回
FD 会議	課長	毎月1回
第三者委員会	施設長、相談員	年2回

9. 施設内研修

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
4/23,5/28,6/24,7/26,8/26,9/27,10/25,11/22,12/27,1/24.2/25	ヒヤリハット研修会	全職種

10. 施設外研修

	研修名	主催	参加職種
4/25、7/23、10/29	老施協・全軽協合同研修会（オンライン）	老施協、全軽協	施設長

11. 苦情受付状況

受付日	苦情申立者	内 容
7/22	ケアマネジャー	新規のヘルパーさんの介入時に、初回にも関わらずケアハウスの職員の同行がなく、どこに何があるかも分からない状況なのでケアハウスの職員も同行が必要であった。
10/27	ケアマネジャー	転倒した利用者の経過をケアハウスに問い合わせたが、宿直者の対応が施設名も名乗らず、適切ではなかった。
10/28	ケアマネジャー	転倒のリスクの高い利用者で訪問看護をプランに組み入れていたが、訪看さんに、転倒した際に報連相なく、傷の処置や、救急搬送が續いた。

12. 行事

実施日	行事名	内容・参加者等
4/1	開設記念	入居者に紅白饅頭配る
5/5	端午の節句	端午の節句メニューとしょうぶ湯
7/9	入居者健康診断	松阪市健診センターより健康診断実施
8/6	夕涼み会	駄菓子屋(プレゼント)、盆踊り
9/2～9/5	敬老写真撮影	個人記念撮影
9/16	敬老昼食会	敬老の日昼食会
9/23	避難訓練	ケアハウス避難訓練(夜間想定)
11/6	紅白ゲーム大会	ゲームにより入居者同士の交流を図る
12/4	入居者忘年会	夕食会・景品・職員余興
12/10	買物ツアー	「わたせい」で買物
12/21	季節風呂	ゆず風呂
12/23	コーラスあい発表会	コーラス
12/25	クリスマス昼食会	クリスマス昼食会・クリスマスプレゼント
1/1	元旦昼食会	元旦昼食会・お屠蘇のふるまい
1/1～1/3	正月三が日行事	ケアハウス内コロナで中止
1/4	獅子舞訪問	ケアハウス内コロナで中止
2/12	避難訓練	ケアハウス避難経路の確認

(月例行事)誕生会、連絡会、清掃デー、各種クラブ、慰霊祭御ミサ他

1 3.クラブ活動等

	気まぐれクラブ		音楽クラブ		頭の体操クラブ		フェルトクラブ		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4月	1	8	1	6	1	8	1	6	4	28
5月	1	8	1	4	0	0	1	8	3	20
6月	1	7	1	6	1	9	1	6	4	28
7月	0	0	1	9	1	6	0	0	2	15
8月	1	7	1	4	1	8	1	5	4	24
9月	1	11	1	5	1	7	1	4	4	27
10月	1	6	1	9	1	5	1	5	4	25
11月	1	9	1	9	1	8	1	7	4	33
12月	1	3	1	7	1	9	1	2	4	21
1月	1	8	1	9	1	8	1	6	4	31
2月	1	7	1	5	1	9	1	4	4	25
3月	0	0	1	6	0	0	1	4	2	10
合計	10	74	12	79	10	41	11	57	43	287

1 4. 施設整備状況 (1件 10万円以上)

実施月	整備事業・物品名	税込事業費(円)
11/14	① 受水槽経年劣化外面改修工事	398,000
1/24	② 厨房内縦型冷蔵庫取り換え工事	461,120

《整備及び物品購入について、取替え、交換・購入の理由》

- ① 受水槽が30年を経過し、劣化が激しくなってきたため、塗装することにより強化。
- ② 冷蔵庫の温度が下がらず、基盤もメーカーには無い商品であったため取り換えた。

1 5. 事業目標に対する総括

- ・ 令和6年度は前年度よりは数字は伸びたが、やはり満床には程遠い実績であった。
- ・ コロナ対応については継続して行っているが、「わたせい」を貸し切りにしてもらい買物ツアーを実施できたことは良かった。次年度は「100円均一店」買物ツアーや、季節のドライブなど利用者さんの楽しみを増やしていきたい。

〔目標の振り返り〕

1. 部内での連携、部外との連携に努めます。

- ①入居者様全員が、月に1度は、職員とじっくり話をする機会をもてるよう計画、実施します。
- ②朝のミーティング、日々の申し送り、二重チェックを徹底します。

・ 朝のミーティングがマンネリ化しており、短時間に内容のあるミーティングにして、朝は早く終えて、利用者さんの健康チェック、ラジオ体操それぞれの配置にすぐに動くようにしようと先般の会議で決めた。

・ 食事、薬など命に関わるような二重チェックは組織として浸透してきたと思われる。

ケアマネさんやご家族への連絡が最終まで報告をせずに、迷惑をかけることが、散見されるので、是正していきたい。

薬は二重チェックしたにもかかわらず、ミスがあったので、徹底していきたい。

2. ご利用者様の安全を守ります。

- ①ひやりはっと記録を振り返り、月に一度検討会を実施します。気づきや解決策の言語化・共有を行います。

- ②明確な感染対策について、入居者様への迅速で丁寧な情報提供、また協力要請を行い、共に安心した生活を築いていきます。

- ・毎月のひやりはっと研修はきっちりと出来たと思われる、食事の配膳ミスや、アレルギーの食事が提供されるようなミスが続いたので、富士産業さんと知恵を出し合い、二度と同じミスと起こさないという関係をお互いが築いていきたい。一方的にミスを咎めるだけではなくて、何故このミスが起きたのかを協働して考え是正していく。
3. ほっと一息や予防教室、秋祭り等の法人行事に、地域との交流に、全職員が参加する機会を持ちます。
- ① 1 会議 1 意見以上の準備をもって、積極的にあたります。
 - ② 身近にある存在として共に歩めるよう、理解と交流を深めます。
- ・それぞれ割り当てられた担当は、誠意をもって参加できたと思う。来年度はさらに、積極的な姿勢で取り組みたい。